

2006年度 社会科学研究所 研究会一覧

指定研究（4件）

- ・ヨーロッパ私法に関する総合的研究 (代表：川角 由和)
- ・都市のにぎわいと生活の安全に関する経済学的研究：京都市とその周辺地域を対象とした事例研究 (代表：井口 富夫)
- ・京都府北部地域の産業集積と地域間ネットワーク (代表：松岡 憲司)
- ・IT人材の国際移動が中国の産業発展に及ぼす影響の日米比較研究 (代表：夏目 啓二)

共同研究（7件）

- ・中国の持続可能な発展と環境：環境法・環境政策・環境紛争に関する日中共同研究 (代表：北川 秀樹)
- ・学生・若年者をめぐる社会状況の変化と社会保障法・雇用保障法の課題 (代表：脇田 滋)
- ・日本の対アフリカ協力政策の参加型評価のこころみ (代表：大林 稔)
- ・教養教育の国際比較 (代表：上垣 豊)
- ・地方のコミュニティメディアにおける非営利放送に関する研究 (代表：松浦さと子)
- ・グローバル化とヨーロッパ化の競合下での市民社会強化戦略 (代表：高橋 進)
- ・近代から現代における女性の社会参加と同時代の日独比較 (代表：N, Wellhaeuser)

個人研究（4件）

- ・地方自治体の情報公開制度と運用に関する研究：大阪市と尼崎市を事例に (小黒 純)
- ・ベヴァリッジの経済思想：デジタルアーカイブの手法から (小峯 敦)
- ・中小食品スーパーにおける食品トレーサビリティ・システムの開発・有効活用に関する研究 (寺島 和夫)
- ・Econometric Approach to Tourism Demand : Case of Kyoto (鈴木 智也)